

# 2014年度松岡ゼミ特別プロジェクト案

2014/04/14

松岡久和

## 1 プロジェクトの概要

- ・物権法（担保物権法）を対象に、基本的な知識の定着度を確認するための問題と解説をチームで分担して作成していただく。

## 2 プロジェクトの背景事情

- ・オープンコースウェア(OCW)運用委員会での本年度の計画案  
：講義での知識の定着度を確認する問題の作成・試行  
法学部の取組みの遅れ
- ・学部の授業改善プロジェクト  
：数科目を選んで同様の実験を試行
- ・20年前の「ごたく民法」プロジェクトの成果と問題点  
参考文献 松岡久和「法学教育とCAI —— 『ごたく民法』実験プロジェクト報告その1」龍谷法学 26巻3・4号（1994年）1頁以下  
成果：知識の整理についての一定の有用性－基礎知識獲得と構造思考の基盤整備  
民法自体への興味・関心・学習意欲の喚起  
問題作成作業自体の学習への好影響  
課題：実験数・アンケートの絶対数不足  
筆者の移籍による実験の中断  
時間的制約による機械的な記憶学習  
OA機器の普及度の低さとコストと混乱（Windows95以前）  
プログラム開発の膨大なコスト  
解説の需要の大きさ  
学生の問題作成の力量と教員の統御コスト
- ・web版の実験として、伊藤博文（現・愛知大学法科大学院教授）の試作  
<http://cals.aichi-u.ac.jp/project/PN0312.html>

## 3 試行の目標

- ・1人4問（3人1チームで12問）、最低限合計100問の作成が目標
- ・5月19日の第2回特別企画に各人2問の試作品を持ち寄って相互検討（解説は後に作成）

## 4 問題作成の手引き

- ・問題は私の物権法講義（別途メールでpdfの場所を案内）とその他の最近の教科書（例：佐久間毅『民法の基礎2』、永田眞三郎ほか『民法2』等）から、条文・判例・学説の基本的な知識と思われるもの限定して作成
- ・問題形式は番号選択式に限る。1問が1分以内で読めるものに限る。  
例：①○×式問題－これは作成がやさしい。1 ○、2 ×の二択になる。10問くらいあっという間にできそう。  
<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/kyoto-university-law-school-jp/008/01minitest.pdf>（問題）  
<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/kyoto-university-law-school-jp/008/01explanation.pdf>  
（正誤と解説）
- ②多肢選択式－選択肢は3以上5まで。司法試験の短答式試験の問題例を参照  
[http://www.moj.go.jp/jinji/shihoushiken/shiken\\_shiken00.html](http://www.moj.go.jp/jinji/shihoushiken/shiken_shiken00.html)（旧司法試験）  
選択肢を少し短めにしてください。
- ・問題作成用紙を別途用意します。

## 5 問題の作成分野の割当て

物権法講義 01 物権法講義を始めるにあたって.pdf	8 班	仲井、改森、松岡
物権法講義 02 所有権の意義・特徴・客体・制限.pdf	8 班	
物権法講義 03 所有権を保護する制度-物権的請求権.pdf	6 班	櫻井、南部、萩原
物権法講義 04 共同所有(その 1 共有).pdf	2 班	鳴尾、岩崎、古宮
物権法講義 05 共同所有(その 2 さまざまな共同所有) .pdf	2 班	
物権法講義 06-1 所有権の取得.pdf	7 班	湯本、小西、蔡
物権法講義 06-2 所有権の取得(続).pdf	7 班	
物権法講義 07 不動産登記制度と登記請求権.pdf	5 班	山本淳、竹内、辻野
物権法講義 08 不動産所有権移転の対抗と第三者.pdf	5 班	
物権法講義 09 登記を要する所有権移転(1)相続と登記.pdf	3 班	岡本、田野口、岩井
物権法講義 10 登記を要する所有権移転(2)取消しおよび解除と登記.pdf	3 班	
物権法講義 11 登記を要する所有権移転(3)取得時効と登記.pdf	1 班	山本和、高崎、上山
物権法講義 12 対抗問題のまとめ.pdf	1 班	
物権法講義 13 動産所有権譲渡の対抗要件と即時取得(上).pdf	4 班	田頭、岡、堀尾
物権法講義 14 動産所有権譲渡の対抗要件と即時取得(下).pdf	4 班	
物権法講義 15 用益物権と物権法定主義.pdf	6 班	
物権法講義 16 占有(1).pdf	9 班	津田、前田
物権法講義 17 占有(2).pdf	9 班	
(物権法講義 18 中間のまとめ.pdf)		
物権法講義 19 担保物権法への招待.pdf	7 班	
物権法講義 20 抵当権の意義、設定と登記.pdf	7 班	
物権法講義 21 抵当権の効力の及ぶ範囲.pdf	5 班	
物権法講義 22 物上代位(その 1).pdf	5 班	
物権法講義 23 物上代位(その 2).pdf	5 班	
物権法講義 24 抵当権の実行と保全処分.pdf	9 班	
物権法講義 25 抵当権の侵害.pdf	9 班	
物権法講義 26 抵当権と所有権や利用権の調整.pdf	3 班	
物権法講義 27 抵当権と利用権の調整(2).pdf	3 班	
物権法講義 28 抵当権と利用権の調整(3).pdf	3 班	
物権法講義 29 抵当権の処分と消滅.pdf	6 班	
物権法講義 30 共同抵当.pdf	6 班	
物権法講義 31 根抵当.pdf	6 班	
物権法講義 32 質権.pdf	1 班	
物権法講義 33 留置権.pdf	1 班	
物権法講義 34 先取特権(1).pdf	8 班	
物権法講義 35 先取特権(2).pdf	8 班	
物権法講義 36 仮登記担保.pdf	8 班	
物権法講義 37 譲渡担保(1).pdf	4 班	
物権法講義 38 譲渡担保(2).pdf	4 班	
物権法講義 39 譲渡担保(3).pdf	4 班	
物権法講義 40 譲渡担保(4).pdf	2 班	
物権法講義 41 所有権留保.pdf	2 班	
物権法講義 42 物権概念の再検討.pdf (未執筆)	7 班	